



DNライティング株式会社

アルディラ Aldila series LEDスポットライト 超高演色型

D-VX5

(100V, 50/60Hz共用, 配線ダクト用)

ご購入ありがとうございます。ご使用前に必ずお読みください。
取付工事には電気工事士の資格が必要です。必ず電気工事店へご相談ください。
この説明書は取付工事が終わりましたら製品をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

取扱説明書

保存用

12年09月05

本社・営業本部 / 東京都品川区西五反田 1-13-5 : 03-3492-4460

札幌営業所 : 011-824-5051

名古屋営業所 : 052-322-2861

大阪営業所 : 06-6338-1081

福岡営業所 : 092-471-8075

安全上の注意

警告



- 取付工事や器具交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。



- 器具の分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。



- 器具に搭載している直流電源装置やLEDモジュールの部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- 紙や布や断熱材などでおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- 器具の隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 器具と被照射物は30cm以上離してください。近接限定距離内に被照射物が近づくとそのある(ドア開閉の範囲、家具の上、クローゼット、押し入れの中等)では使用しないでください。被照射面の変色や変質、火災の原因となります。

- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。



- 配線ダクトの設置または交換が必要です。配線ダクトの設置・交換には資格が必要です。工事店、電器店に依頼してください。



- 器具の取り付けは、器具の質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
- 電源接続の際は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。接続が不完全ですと、感電、火災の原因となります。
- 天井取り付け専用器具です。下図のような場所に取り付けると火災、感電、落下の原因となります。



注意

- 取付工事は、必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は、法で禁じられています。素人工事をおこないますと、感電、火災の原因となることがあります。
- 電源電圧は、AC100V±6V以内で使用してください。LEDモジュールの短寿命、不点灯、チラツキ、直流電源装置の故障の原因となることがあります。
- 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 風呂場など湿気や水気のあるところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、器具に水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。

- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 腐食性雰囲気のあるところでは使用しないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 器具を被照射面に近接した位置に取り付けしないでください。被照射面の変色や変質、火災の原因となることがあります。
- 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 器具の温度上昇は収納部の容積や器具と造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意して、器具と造営材との間隔をとってください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となることがあります。
- 器具の樹脂部分に塗料などを塗らないでください。樹脂部分が劣化し、故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 濡れた手で取り付けをおこなわないでください。感電の原因となることがあります。

ご使用上の注意

- 周囲温度は5~35℃の範囲で使用してください。LEDモジュール器具の短寿命、不点灯、チラツキ、故障の原因となることがあります。
- 点灯および消灯直後にLEDモジュールからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が発生する場合がありますが、安全上には問題ありません。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。リモコンの受信部には、LEDモジュールの光が入らないよう配慮してください。
- 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じたり、照明器具に若干のうなり(音)を生じる場合があります。
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときは器具から1m以上離して使用してください。
- 調光器との併用はできません。

- 施工方法、使用方法によっては、電波障害が生じることがありますので次の事項を守ってください。
 - ①器具およびその配線と通信ケーブルなどは、近接しないように施工してください。
 - ②器具およびその配線と電子機器とをあまり近づけないようにしてください。
 - ③器具に接近してワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に動作しない場合があります。また、赤外線リモコン機器や盗難防止センサーを近接して使用すると機器が正常に動作しない場合があります。
- 交換の際は器具ごと交換ください。LEDモジュールやLED素子単体では交換できませんのでご注意ください。
- 漏電遮断器の種類によって直流電源装置からの高周波の漏洩電流の影響により漏電遮断器が動作する場合があります。この場合には高周波対応型漏電遮断器を使用してください。
- LED素子にはバラツキがあるため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がございます。ご了承ください。
- 点灯しているLEDモジュールを長時間直視するのはおやめください。目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 電源を投入しても点灯までに1~2秒かかることがあります。

保守・点検

- 照明器具および関連部品(直流電源装置、ランプ、モジュール含む)には寿命があります。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1解説による)
※LED光源は寿命がきてても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。

- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

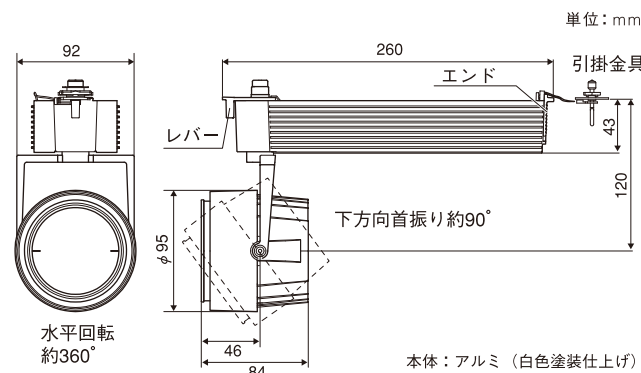
定格

(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

形式	本体質量 (kg)	入力電圧 AC(V)	入力電流 (A)	入力電力 (W)	適合ダクト (パナソニック(株)製品)
D-VX51W	1.30	100	0.20	20	100V配線ダクト (DH0211等)
D-VX52W					
D-VX53W					
D-VX54W					
D-VX55W					
D-VX56W					
					アース付配線ダクト (DH0211EK等)

・周波数: 50/60Hz共用 ※形式の51は5000K、52は4200K、53は3500K、54は3000K、55は2600K、56はLPの色温度相当、Wは白の本体カラーを表します。
 ※スポットベース(DH0214、DH0224)には取り付けできません。
 ※100V配線ダクト、アース付配線ダクトではパイプ吊りハンガーは使用できません。
 ※100V配線ダクト、アース付配線ダクトの取付用木ねじの位置には取り付けできません。

各部の名称と外形寸法



単位: mm

本体: アルミ (白色塗装仕上げ)

取付方法

1.レバーを取り外し位置にする

- ・レバーを本体側面側に回して、取り外し位置にしてください。
 - ・レバーが配線ダクト突起の逆側に来る様に本体の向きを変えてください。
- 【注意】器具と被照射面の距離は300mm以上離してください。被照射物の変色や変質、火災の原因となることがあります。

2.エンドを下げながら配線ダクトへ押しあてる

- ・本体端部のエンドを下げながら本体を配線ダクトへ押しあて、エンドのフック部で配線ダクトのレール部分を挟んでください。
- 【注意】エンドのフック部が配線ダクトのレール部分を確実に挟んでいることを確認してください。火災、ケガの原因となります。

3.レバーを取り付け位置にする

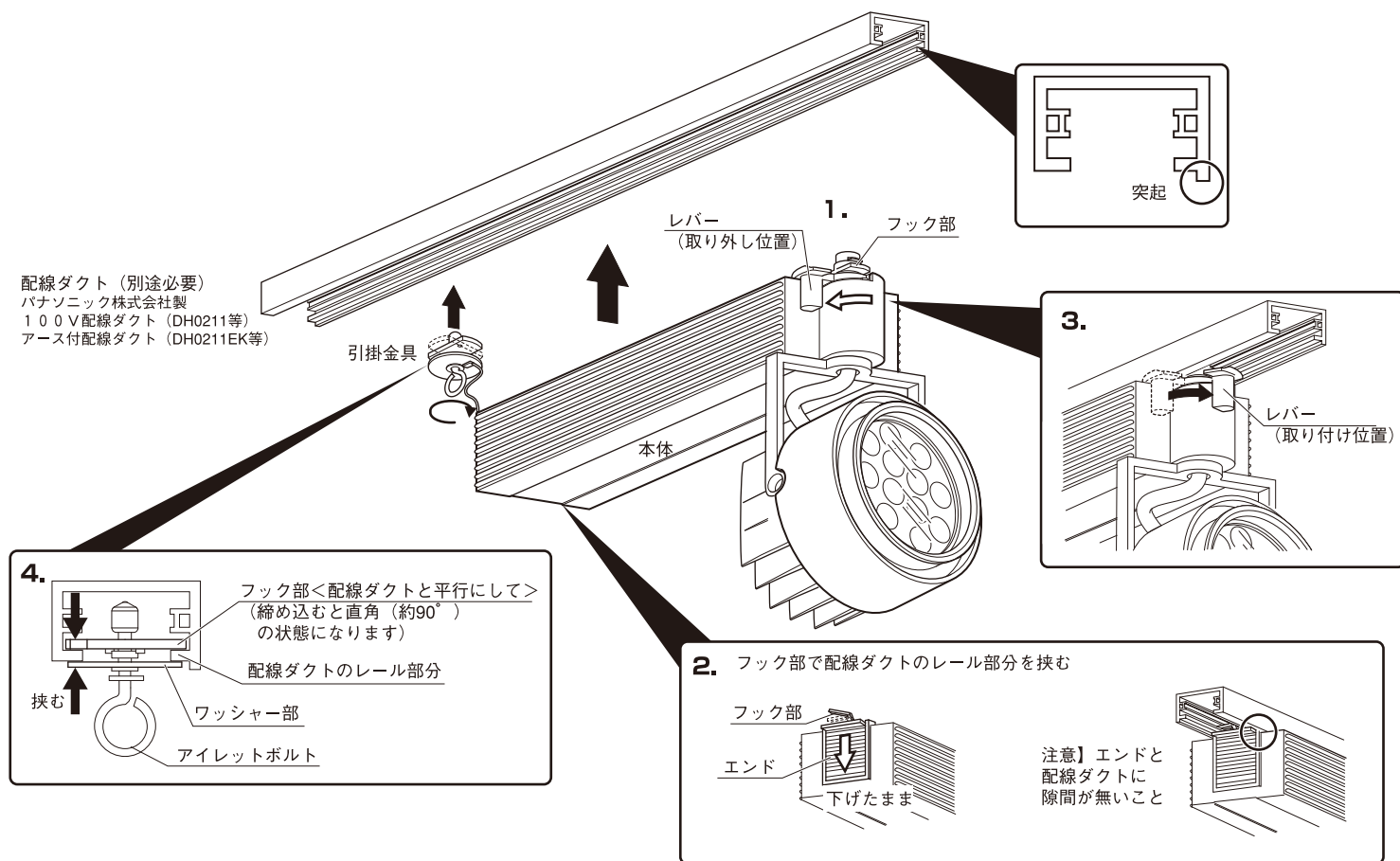
- ・本体を配線ダクトへ押しあてたまま、レバーを本体端部側へ回して（右に90°回転）取り付け位置にしてください。
- 【注意】レバーのフック部が配線ダクトのレール部分の内側へ確実に取り付けられていることを確認してください。火災、ケガの原因となります。

4.引掛金具を配線ダクトへ取り付ける

- ・引掛金具のフック部を配線ダクトに対して平行に差し込んでください。
 - ・フック部が配線ダクトに対して直角（約90°）になる様にアイレットボルトを締め込み、フック部とワッシャー部で配線ダクトのレール部分を挟み込んでください。
- 【注意】引掛金具のフック部が確実に配線ダクトへ付いていることを確認してください。ケガの原因となります。

5.電源の供給

- ・全ての作業が終わりましたら電源を入れ、LED照明器具が点灯することを確認して、照射方向を調整してください。
- 【注意】LED照明器具の可動部を可動範囲以上に無理に回転させないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。



取り外し方法

1.電源の遮断

2.引掛金具を配線ダクトから外す

3.レバーを取り外し位置にする

4.エンドを下げながら配線ダクトから外す

